

## 平成20年度第4回岐阜県事業評価監視委員会

## 【森林整備課所管事業審議資料】

○ 再評価対象箇所一覧表	…………… 1
○ 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について 森林居住環境整備事業	…………… 2
○ 平成20年度 再評価実施箇所（附図）	
森林居住環境整備事業（揖北）	…………… 3
森林居住環境整備事業（大谷～大柘）	…………… 4
森林居住環境整備事業（中美濃）	…………… 5
森林居住環境整備事業（白尾～鷺見線）	…………… 6
森林居住環境整備事業（二間手～水沢上）	…………… 7
○ パワーポイント	
森林居住環境整備事業（各路線共通事項）	……………8～12
森林居住環境整備事業（揖北）	……………13～17
森林居住環境整備事業（大谷～大柘）	……………18～22
森林居住環境整備事業（中美濃）	……………23～27
森林居住環境整備事業（白尾～鷺見線）	……………28～32
森林居住環境整備事業（二間手～水沢上）	……………33～36

平成20年度 再評価対象箇所一覽表 7月23日審議箇所

[ 林政部森林整備課 ]

番号	事業名	路線・地区名	市町村名	採択年度	完了予定年度	事業概要		全体事業費 (百万円)	実施済み額 (百万円)		経過年数 (H20.3現在)	地元の意向	関連事業等の進捗状況	社会経済情勢等の変化	環境との調和への配慮事項	事業コストの削減	費用対効果分析	対応方針(案)	特記事項
						全体事業量	事業実施量		用地補償費	工事費等									
1	森林居住環境整備	揖北	揖斐川町	H2	H34	17,200	3,366	19.6%	6,080	1,377	18	事業継続・早期完成を強く希望	なし	森林に対する多様な要請 (Co2吸収源など)	間伐材、リサイクル製品の活用	幅員の変更、掘削残土の有効利用、L型構壁工の採用など	1.3	継続	
2	森林居住環境整備事業	大谷～大栃	関市、郡上市	S48	H25	22,160	18,415	83.1%	4,725	3,966	35	事業継続・早期完成を強く希望	なし	森林に対する多様な要請 (Co2吸収源など)	間伐材、リサイクル製品の活用	幅員の変更、掘削残土の有効利用、L型構壁工の採用など	1.5	継続	
3	森林居住環境整備事業	中美濃	美濃市、関市、郡上市	H元	H26	20,201	18,694	92.5%	5,119	4,308	19	事業継続・早期完成を強く希望	なし	森林に対する多様な要請 (Co2吸収源など)	間伐材、リサイクル製品の活用	掘削残土の有効利用、L型構壁工の採用など	1.5	継続	
4	森林居住環境整備事業	白尾～鷺見	郡上市	H2	H25	17,917	14,043	78.4%	3,573	2,595	18	事業継続・早期完成を強く希望	H21 林道アツワ線完成予定	森林に対する多様な要請 (Co2吸収源など)	間伐材、リサイクル製品の活用	掘削残土の有効利用、L型構壁工の採用など	1.3	継続	
5	森林居住環境整備事業	二間手～水沢上	郡上市	H4	H30	18,300	10,936	59.8%	4,041	2,811	16	事業継続・早期完成を強く希望	なし	森林に対する多様な要請 (Co2吸収源など)	間伐材、リサイクル製品の活用	幅員の変更、掘削残土の有効利用、L型構壁工の採用など	1.5	継続	

平成20年度再評価・事後評価の対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について  
 課・室名：森林整備課

別紙1

○事業制度について	事業名	森林居住環境整備事業	
	事業目的	山村と都市の共生・対流を図り、快適な居住環境を広く創出することとし、居住地周辺の森林、山村地域の定住基盤、森林整備の基礎となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道等の整備を総合的に実施する。	
	採択基準	基幹道・・・地域森林計画に記載された林道。開設効果指数が1.2以上。利用区域面積が1000ha以上、かつ全体計画延長が7km以上。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。 管理道・・・地域森林計画に記載された林道。開設効果指数が0.9以上。利用区域面積が50ha以上、かつ全体計画延長が1km以上（過疎、特定・準特定市町村等は30ha以上かつ0.8km以上）。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。	
概要 (メニュー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林基幹道開設</li> <li>・森林管理道開設</li> </ul>		
○費用対効果の分析について 費用対効果B/C* :	効果の項目	うち貨幣換算する項目 《B》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源かん養便益</li> <li>・山地保全便益</li> <li>・環境保全便益</li> <li>・木材生産等便益</li> <li>・森林整備経費縮減等便益</li> <li>・一般交通便益</li> <li>・森林の総合利用便益</li> <li>・災害等軽減便益</li> <li>・維持管理費縮減便益</li> <li>・山村環境整備便益</li> <li>・その他の便益</li> </ul>
		その他項目	
	費用 《C》 の算定	費用の積み上げ基準＝事業費（建設費）＋維持管理費  単価の基準（事業開始年度単価） （割引率4%）  維持管理費の考え方（項目・・・林道維持管理費） （積み上げ年数・・・事業実施時から事業完了後40年間）	
	費用対効果比の基準	B/C = 1.0以上	

# 平成20年度 再評価実施箇所(附図)

担当課〔 森林整備課 〕

番 号	1	事 業 名 (路線・河川名等)	森林居住環境整備事業 ( 揖 北 )
事業実施箇所	揖斐郡揖斐川町東津汲 ~ 揖斐郡揖斐川町東横山		事業主体 岐阜県
採択年度	平成2年度	完了予定年度	平成34年度
再評価の実施基準	前回再評価から5年経過		
事業目的	揖斐川町東津汲地区から揖斐川町東横山地区にかけての揖斐川左岸の森林整備及び林業経営の基盤となり、地域産業の振興に資する基幹林道の整備を行う。		
事業概要	<p>林道開設</p> <p>幅員 4.0m、5.0m</p> <p>延長 17,200m</p>		
概要図	<p>The map displays a topographic view of the project area. A green line outlines the project boundary. A solid black line indicates existing roads, a red line indicates completed roads, and a dotted red line indicates the remaining plan. To the right of the map, four vertical boxes with arrows indicate the status of different road segments: '既設' (Existing) for the top solid black segment, '実施済' (Completed) for the red segment below it, '残計画' (Remaining plan) for the dotted red segment, and another '実施済' (Completed) for the bottom red segment.</p>		
	<p>The photographs show the physical work of the project. The top photo shows a newly constructed road through a forest. The middle photo shows a road with a large rock barrier. The bottom photo shows workers in safety gear performing maintenance or construction in a wooded area.</p>		

## 平成20年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	2	事 業 名 (路線・河川名等)	森林居住環境整備事業 (大谷～大栃)	
事業実施箇所	起点：関市板取 終点：郡上市八幡町	事業主体	岐阜県	
採択年度	昭和48年度	完了予定年度	平成25年度	
再評価の実施基準	事業採択後長期間が経過した時点で継続中の事業			
事業目的	<p>関市板取・郡上市八幡町界に位置する 2,351ha の森林内の路網の骨格となる幹線林道を開設し、効率的な林業経営と適正な森林整備並びに間伐材等木材の搬出としての機能を果たす。</p>			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業延長 22,160 m</li> <li>・幅員 5.0 m (一部区間は4.0 m)</li> </ul>			
概要図	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"><b>森林基幹道 大谷～大栃</b></p> 			

## 平成20年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	3	事 業 名 (路線・河川名等)	森林居住環境整備事業 (中美濃)	
事業実施箇所	起点：美濃市～関市洞戸～郡上市美並町 ～郡上市八幡町～関市板取：終点	事業主体	岐阜県	
採択年度	平成元年度	完了予定年度	平成26年度	
再評価の実施基準	事業採択後長期間が経過した時点で継続中の事業			
事業目的	<p>美濃市、関市洞戸、郡上市美並町、郡上市八幡町、関市板取の市町村界に位置する 2,136ha の森林内の路網の骨格となる基幹林道を開設し、効率的な林業経営と適切な森林整備を促進するとともに、沿線「ふくべの森」等へのアクセス道路として、森林の総合利用と地域の活性化に資する。</p>			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業延長 20,201 m</li> <li>・幅員 5.0m</li> </ul>			
概要図				

## 平成20年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	4	事 業 名 (路線・河川名等)	森林居住環境整備事業 白尾～鷺見線		
事業実施箇所	起点：郡上市白鳥町六ノ里 終点：郡上市高鷺町鷺見	事業主体	岐阜県		
採択年度	平成 2年度	完了予定年度	平成25年度		
再評価の実施基準	事業採択後長期間が経過して時点で継続中の事業				
事業目的	郡上市白鳥町、高鷺町の 1,271ha の森林における路網の骨格となる森林基幹道を開設することにより、効率的な林業経営や森林の適正な管理に資する。				
事業概要	全体延長 L=17,917m 幅員 W=4.0m				
概要図	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>— 開設</p> <p>⋯ 未開設</p> <p>— 利用区域</p> </div>  </div>				

## 平成20年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	5	事 業 名 (路線・河川名等)	森林居住環境整備事業 二間手～水沢上線		
事業実施箇所	起点：郡上市明宝村気良 終点：郡上市明宝村奥住	事業主体	岐阜県		
採択年度	平成 4年度	完了予定年度	平成30年度		
再評価の実施基準	事業採択後長期間が経過して時点で継続中の事業				
事業目的	郡上市明宝内の 2,270ha の森林における路網の骨格となる森林基幹道を開設することにより、効率的な林業経営や森林の適正な管理に資する。				
事業概要	幅員 W=5.0・4.0 m 延長 L=18,300 m				
概要図	<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="width: 20px; height: 5px; background-color: black; margin-right: 5px;"></div> <span>開設済み</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <div style="width: 20px; border-top: 2px dashed red; margin-right: 5px;"></div> <span>未開設</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 20px; height: 5px; background-color: yellow; margin-right: 5px;"></div> <span>利用区域</span> </div>				
					





## 林道の整備目的

- ・効率的な林業経営
- ・適正な森林管理
- ・森林の多面的機能の発揮  
(国土の保全、水資源のかん養、自然環境の保全・形成)
- ・山村地域の活性化

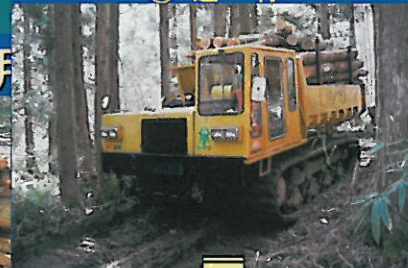


## 効率的な林業作業システム

① 集材



③ 運材



利用

② 造材



④ 搬出





## 林道事業の主要な効果(1)

### 木材生産等便益

- ・林道の開設による木材搬出経費の縮減効果
- ・切り捨てられていた間伐材や小径木の利用促進効果
- ・これまで伐採の対象とならなかった森林の利用促進効果

### 森林整備経費縮減等便益

- ・森林整備の促進により、森林の公益的機能の増進効果  
(洪水防止、流域貯水、土砂流出防止など)
- ・森林整備に係る作業員の歩行時間や資材運搬経費の縮減効果



## 林道事業の主要な効果(2)

### その他の便益

- ・森林の総合利用便益
- ・一般交通便益
- ・災害等軽減便益



林道沿いの登山道入り口



林道を利用する一般車両

## 林道事業におけるコスト縮減の取り組み

- ・現場発生残土の有効活用
- ・コンクリート2次製品等の活用
- ・道路幅の見直し(5.0m→4.0m)



補強土壁工による残土の軽減



L型プレキャスト擁壁の利用

## 林道事業における環境配慮への取り組み

- ・県内産間伐材の活用
- ・再生材やリサイクル認定製品の積極的な利用



## 社会情勢の変化

### ■ 森林に対する多様な要請

- ・二酸化炭素(Co2)吸収源
- ・生物多様性

など

### ■ 木材価格の長期低迷

- ・林業担い手の減少

効率的な森林整備

- ・路網整備
- ・林業の機械化

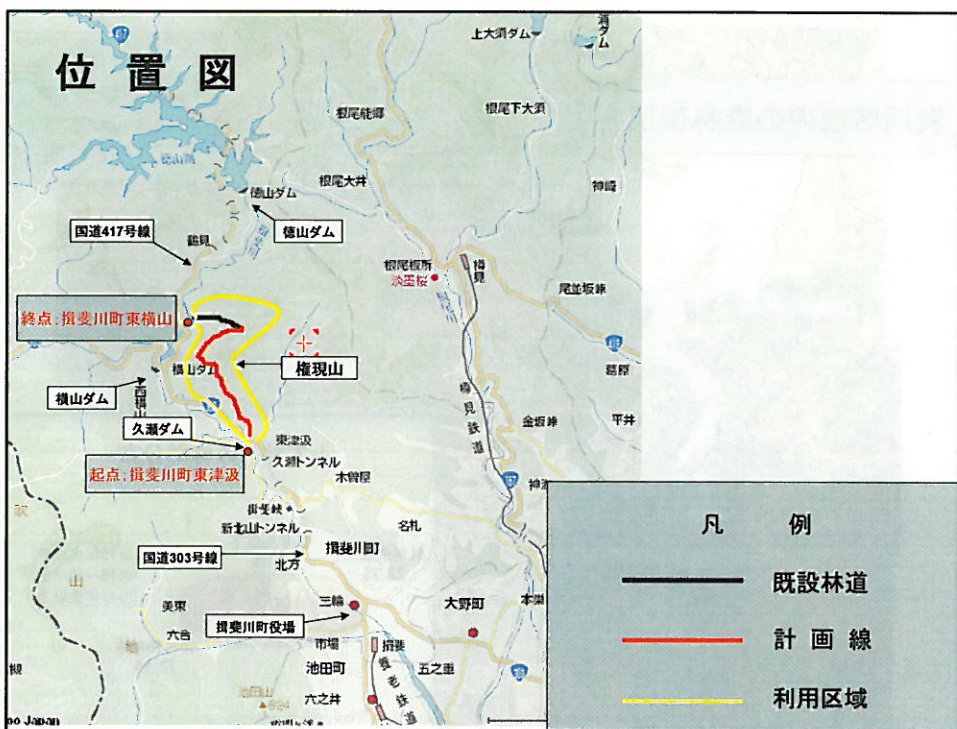
健全な森林づくり

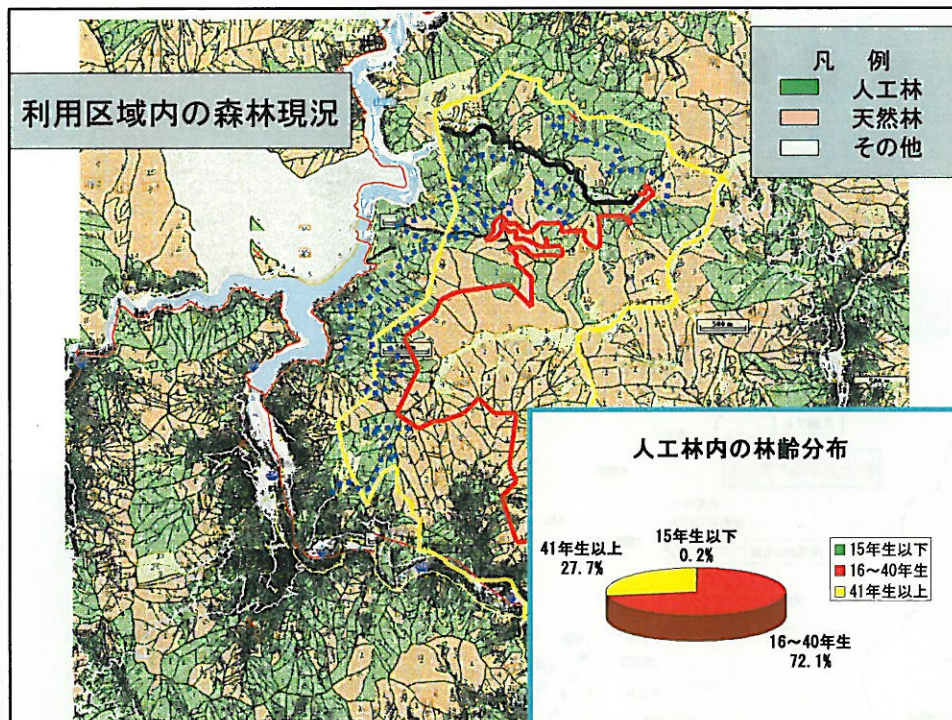
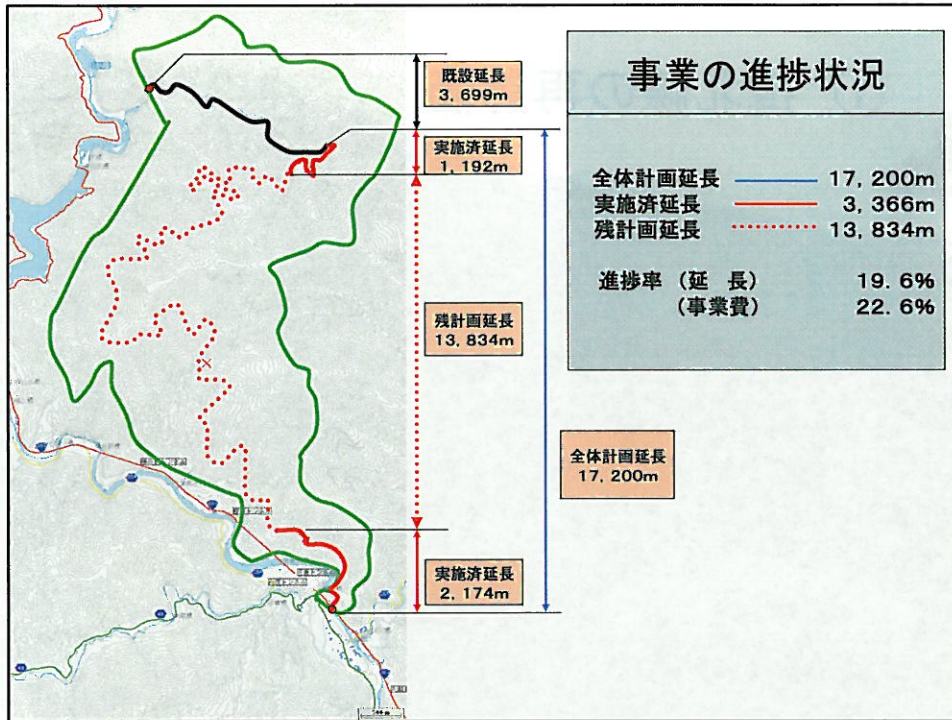
# ① 揖北線の再評価

## <事業概要>

事業期間 : 平成2~34年度  
 事業費 : 6,080百万円  
 事業内容 : 幅員 4.0m、5.0m  
 延長 17,200m  
 利用区域面積 : 1,529ha

## 位置図





# 費用対効果分析

## □事業の効果

木材生産等便益	21%
森林整備経費縮減等便益	68%
その他の便益	11%

$$\frac{\text{投資的効果率}}{\text{効果額}} = 1.3$$

事業費

## 各種事業の実施状況







## 関係者の意向

- 今後の間伐材、主伐材の搬出のため、大型トラックが通行できる道がほしい
- 災害時に国道の迂回路となる道がほしい



早期完成を強く要望

## 対応方針(案)

- 間伐を始めとした地域の森林整備を進める
- 地元関係者は事業の継続・早期完成を強く要望している

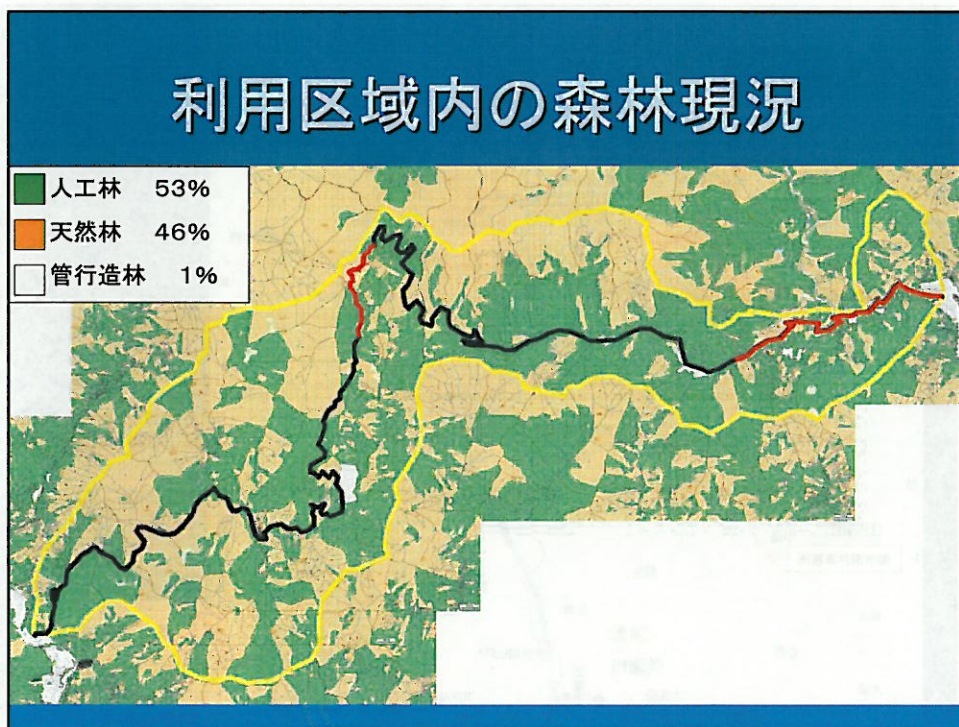


継続して事業を実施することが妥当

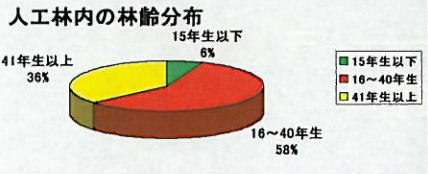
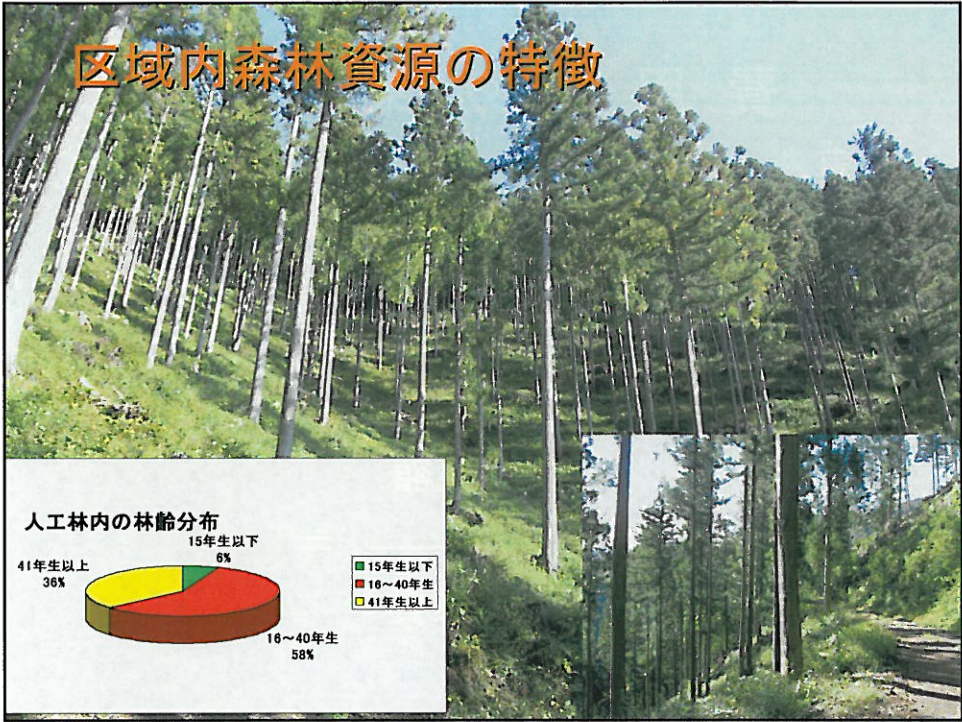
## ② 大谷～大栃線の再評価

事業期間	昭和48年度～平成25年度
事業費	4,725百万円
事業内容	幅員5.0m(一部4.0m)
	延長 22,160m
利用区域面積	2,351ha





# 区域内森林資源の特徴



# 現況路網と計画



## 費用対効果分析

### ■事業の効果

- ・木材生産等便益 58%
- ・森林整備経費縮減等便益 41%
- ・その他の便益 1%

$$\text{■投資効果率} = \frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.5$$

## 関係者の意向

- 将来奥地林から木材の搬出ができるよう大型トラックでアクセスできる道がほしい
- 市町村界を跨いで山林を所有しているため直接現地へ行ける道がほしい



**早期完成を強く希望**

## 対応方針（案）

- 森林所有者、関市・郡上市とも要望が強い
- 各便益に対する効果が期待できる
- 森林整備の推進により、水源かん養機能等公益的機能の向上が期待できる



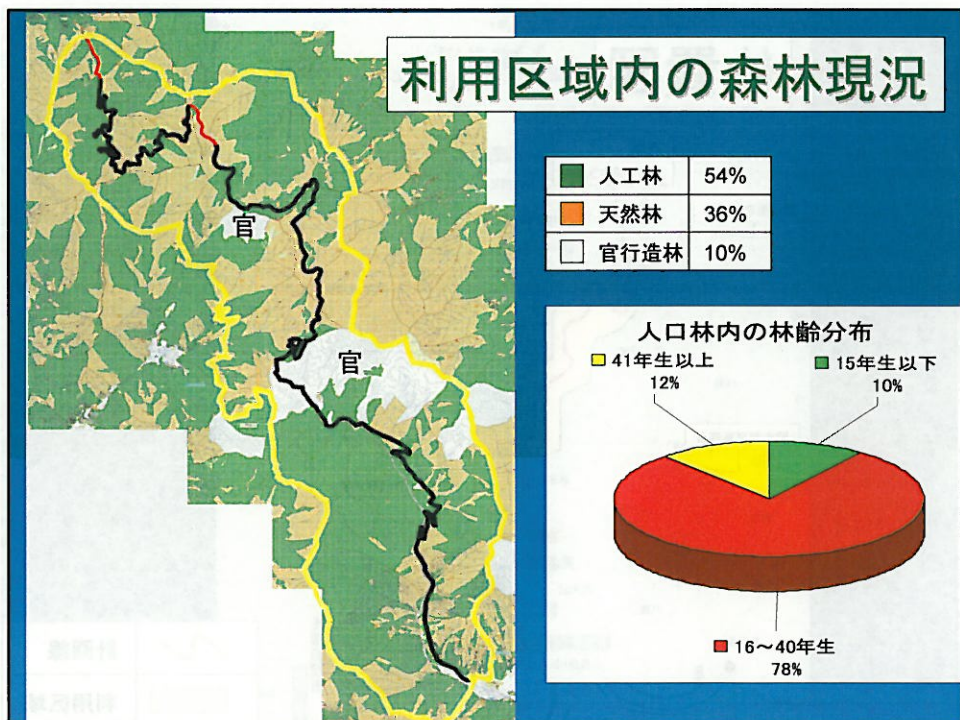
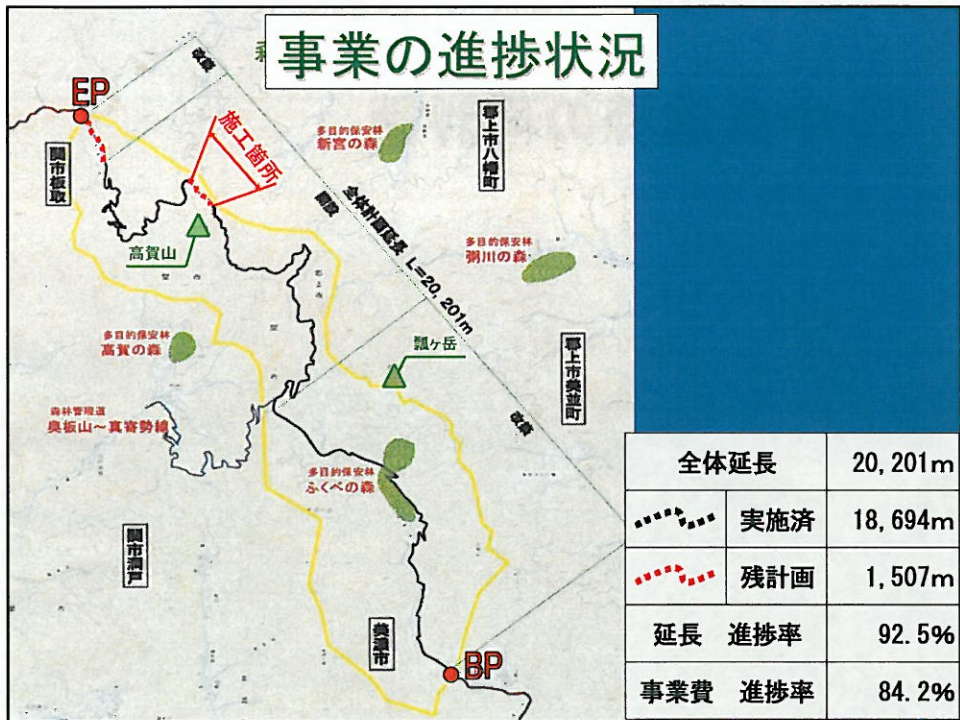
継続して事業を実施

### ③ 中美濃線の再評価

事業期間 平成元年～平成26年度  
 事業費 5,119百万円  
 事業内容 幅員 5.0m  
 延長 20,201m  
 利用区域面積 2,136ha









## 投資効果の分析

### ■事業の効果

- ・木材生産等便益 47%
- ・森林整備経費縮減等便益 47%
- ・その他の便益 6%

$$\text{■投資効果率} = \frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.5$$

## 関係者の意向

- 森林整備や木材搬出のための道がほしい
- 緊急時の迂回路としての道がほしい
- 森林の総合利用を図るための道がほしい



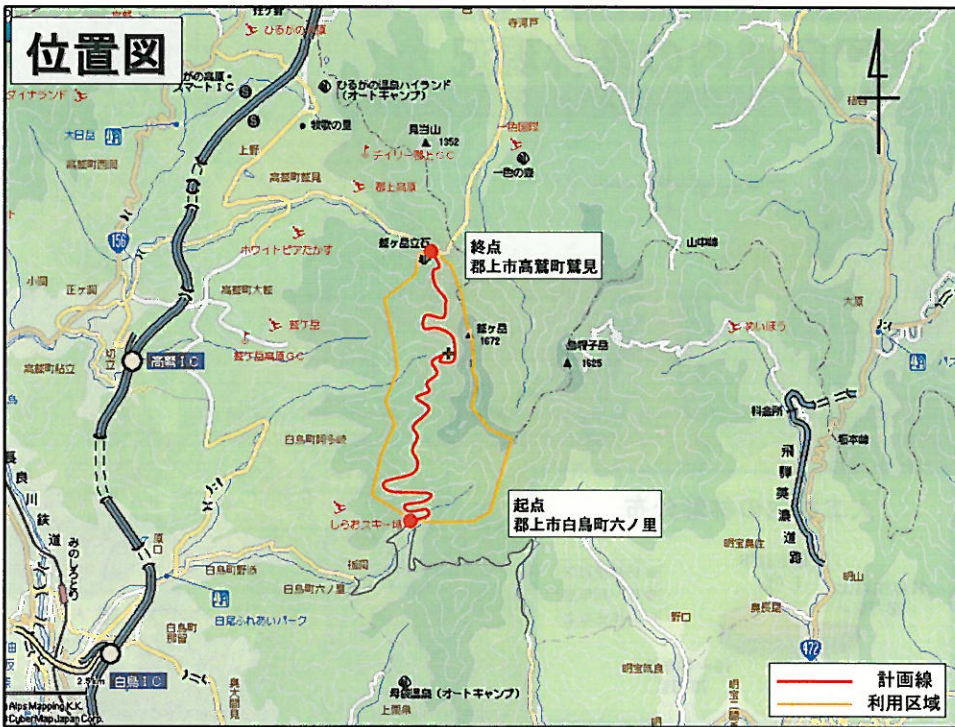
**早期完成を強く希望**

## 対応方針（案）

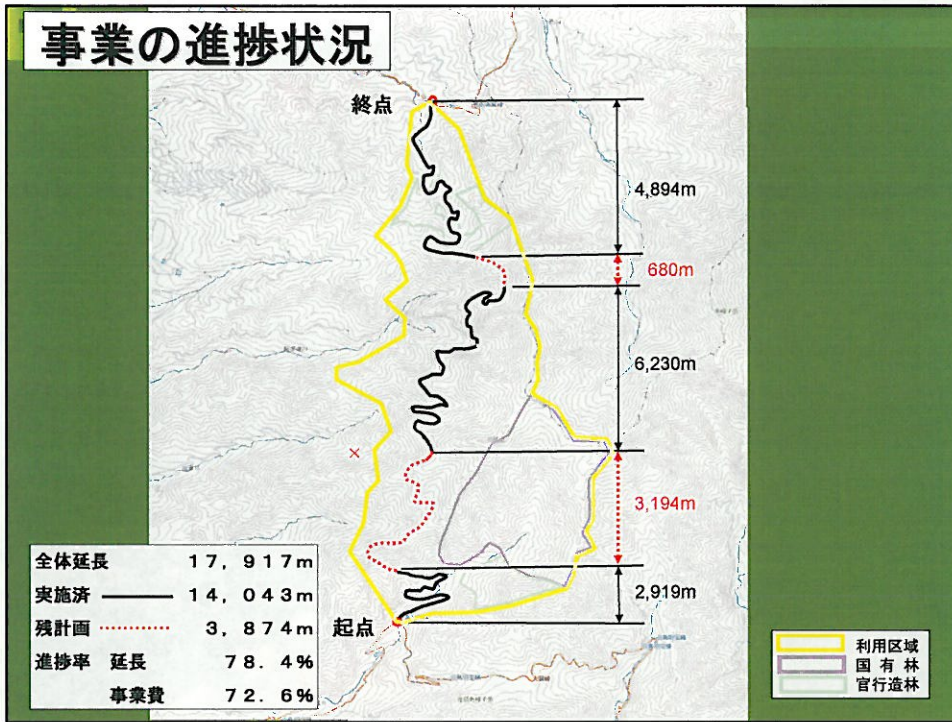
- 森林所有者、美濃市・関市・郡上市とも要望が強い
- 各便益に対する効果が期待できる
- 森林整備の推進により水源かん養等の公益的機能の向上が期待できる
- 高賀山・ふくべの森等を背景に癒しの空間として、林道の利用者増大が見込まれる



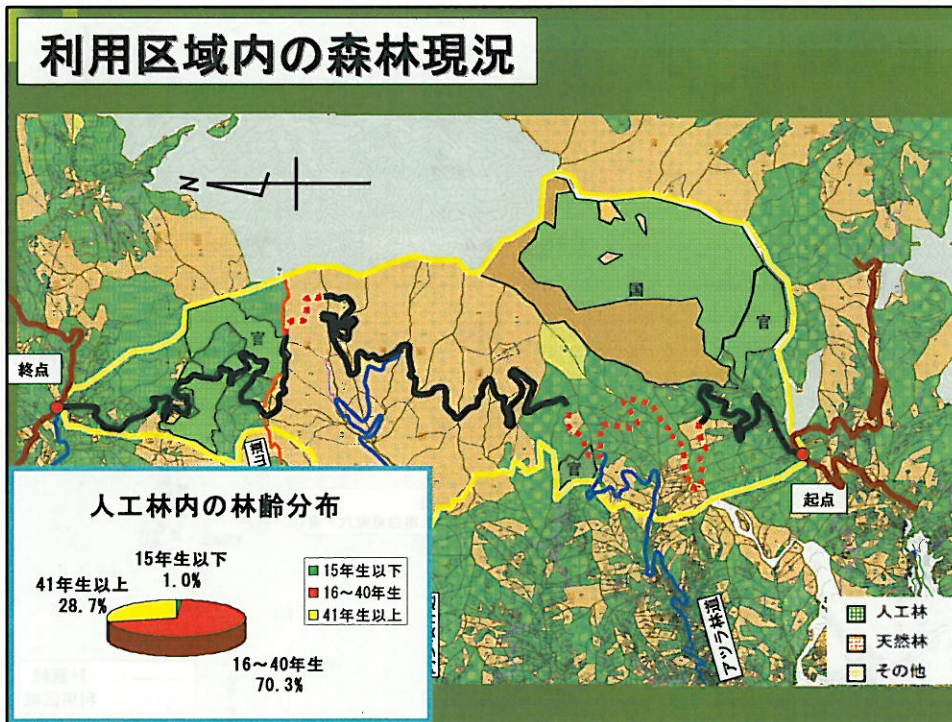
**継続して事業を実施**



## 事業の進捗状況

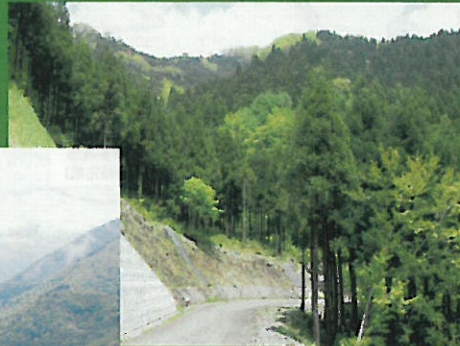
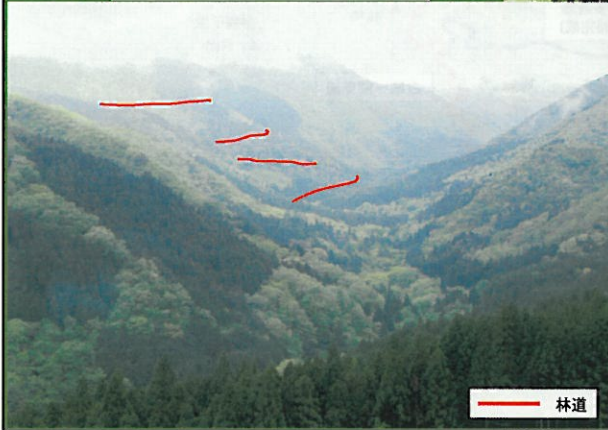


## 利用区域内の森林現況



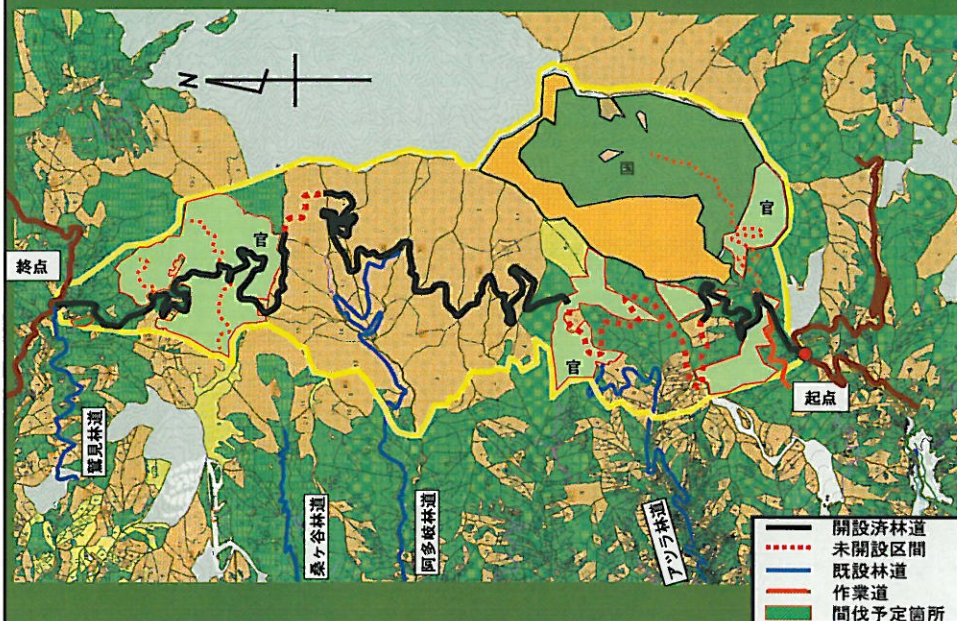
## 水源涵養保安林に指定された 利用区域内の森林

— 起点付近の森林現況 —  
(長良川支流 牛首川)



— 林道沿線の森林現況 —

## 現況路網と計画



## 林道網の整備による効率的な森林整備の推進



## 費用対効果分析

### ■事業の効果

木材生産等便益	43%
森林整備経費縮減等便益	49%
その他の便益	8%

### ■投資的效果率

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.3$$



## 関係者の意向

- 既設の林道に接続し、連絡線形として欲しい。
- 木材搬出のため大型トラックが進入可能な林道が必要。



早期完成を強く希望

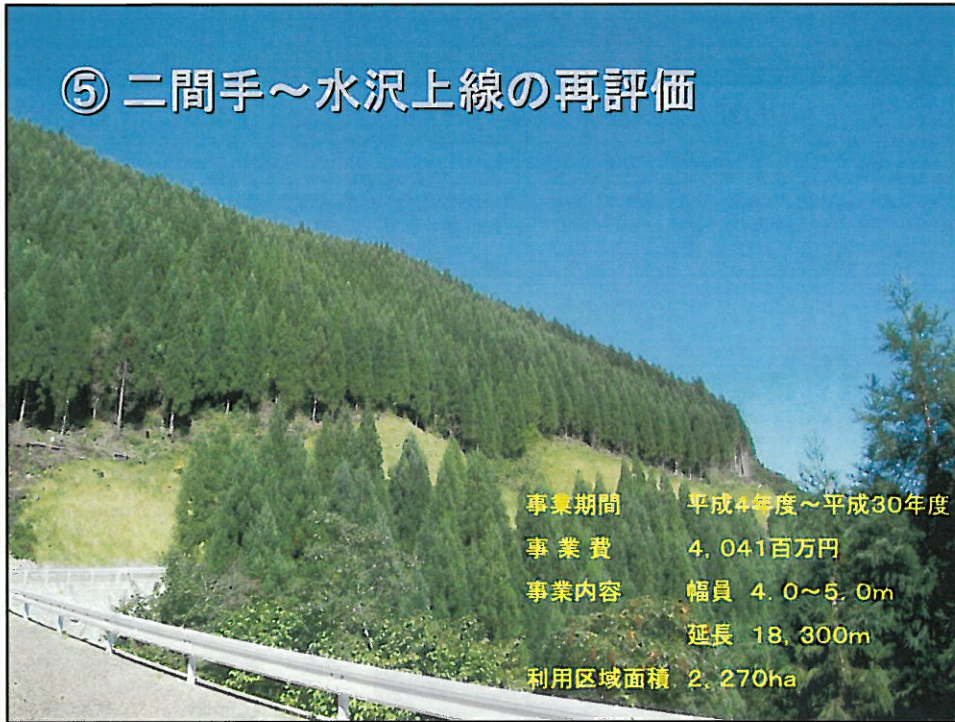
## 対応方針(案)

- 間伐を始めとした地域の森林整備を進める。
- 地元関係者は事業の継続・早期完成を強く要望している。

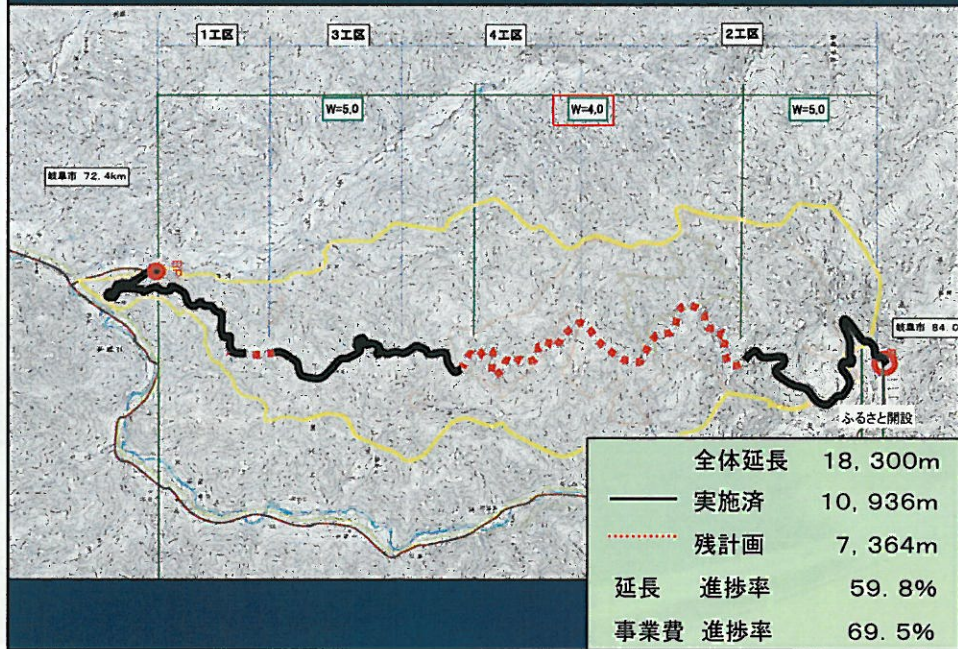


継続して事業を実施することが妥当

## ⑤ 二間手～水沢上線の再評価



## 事業の進捗状況



## 利用区域内の森林現況



## 区域内森林資源の特徴



## 現況路網と計画



## 投資効果の分析

### ■事業の効果

木材生産等便益	52%
森林整備経費縮減等便益	47%
その他の便益	1%

### ■投資的効果率

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.5$$

## 関係者の意向

- 現在まで計画的に森林施業を行っており、木材搬出のため大型トラックが進入可能な林道が必要
- 木材搬出のため効率的な作業道整備を進める必要があり、基幹となる林道が重要。



**早期完成を強く希望**

## 対応方針（案）

1. 間伐を主体とした地域の森林整備を促進させる。
2. 森林所有者・郡上市とも事業継続・早期完成を強く要望している。



継続して事業を実施することが妥当